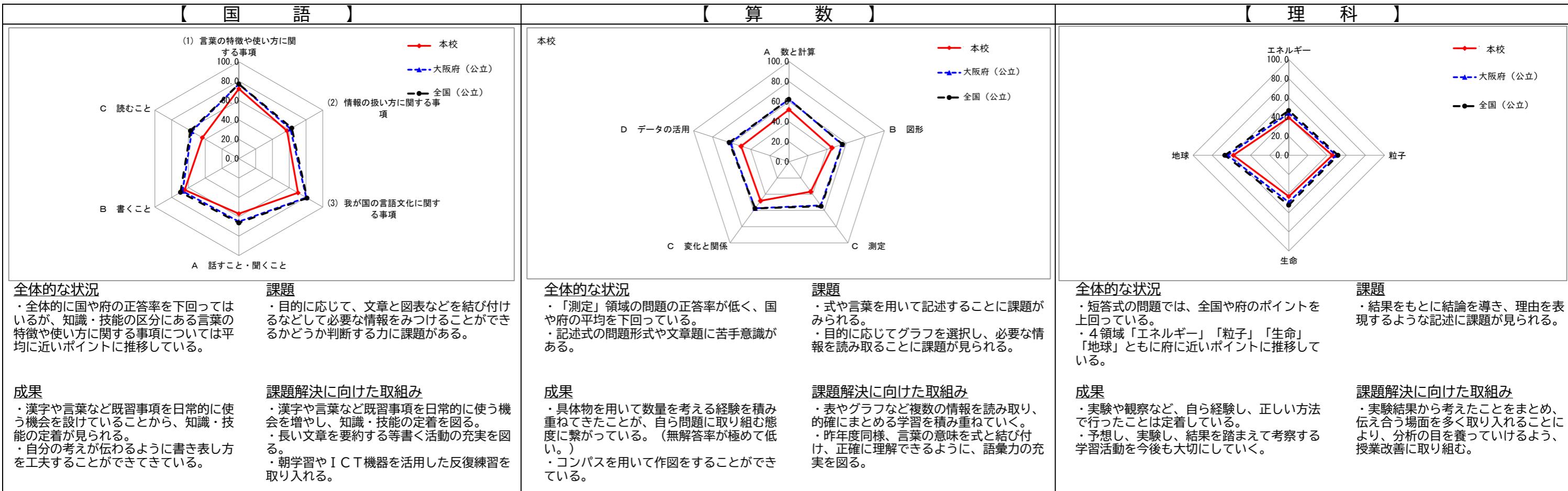


令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果について

富田林市立富田林小学校

調査実施要領にありますように、本調査結果は、学力や学習状況の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面であります。しかしながら、学校として以下の結果について真摯に受け止め、子どもたちの学力並びに学習意欲の向上に努めてまいります。保護者の皆さまのご理解・ご協力をよろしくお願ひいたします。

【学力状況調査】 <学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



【学習状況調査】

状況が良好な主な項目	本校	府	全国	課題を残した主な項目	本校	府	全国
人の役に立つ人間になりたい	93	95	96	将来の夢や目標を持っていますか	74	84	83
友だち関係に満足していますか	91	91	92	自分には、よいところがありますか	67	87	87
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	91	88	87	地域や社会をよくするために何かをしてみたいと思いますか	67	78	81
※数値は小数点以下四捨五入							
全体的な状況 <ul style="list-style-type: none"> 自己肯定感の低さが顕著にでている。 学習に対する関心・意欲・態度については、特に国語において良好である。 成 果 <ul style="list-style-type: none"> 「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と感じている児童の割合が大きい。 「国語や勉強を大切に思っている」児童の割合が大きい。 	課 題 <ul style="list-style-type: none"> 自分に自信が持てず、考えや思いを発表することがなかなかできない児童がいる。 将来の夢や具体的な目標を持つことについての割合が全国や府より低い。 課題解決に向けた取組み <ul style="list-style-type: none"> ペアやグループでの話し合い活動やスピーチ活動を積極的に取り入れ、人前で話す経験を増やしていく。 小さな成功体験を積ませることや、過程を認める等を継続して行い、自己肯定感をあげる取組みを行う。 						

○保護者の皆さまへ(全体を通じて)

- 今回の調査において、本校では「人の役に立つ人間になりたい」と思う児童が多いという結果が出ており、規範意識や道徳心が育まれていると考えられます。
- また、「国語」が好きな児童の割合が大きいことや、学力調査での無回答率が極めて低いという結果からは、学びに対する前向きな気持ちやねばり強く取り組む態度が育っていることがわかります。
- このことは、学校の教育活動だけの成果ではありません。ご家庭でも励ましのお声かけや対話を大切にしていただくなど、ていねいに関わっていただいていることが、子どもたちの健やかな育ちにつながっているものと考えています。
- 一方で、自己肯定感の低さがあるため、「比較や結果」ではなく「成長や存在そのもの」に光を当て、前向きな気持ちになるような継続した取り組みが必要となっています。
- スマートフォンやタブレット等の使い方については、学校でも学年の成長段階に応じた指導を行ってまいります。ご家庭でもお子さまの状況に合わせて話し合っていただき、無理のない具体的なルールづくりや確認のお声かけをお願いいたします。
- 朝の時間帯に行っているビジョントレーニングを継続し、「見る力」視覚機能を鍛えることで、集中力や注意力が向上する取り組みを進めています。
- 全国学力調査の問題は、長い文章を読み進めながら問題で問われていることを解釈し、表現することが問われます。学校では教科学習において、めあてを明確にし、自分で考え表現する活動や友達と交流し学習を深める活動を充実させています。
- 学校といたしましては、学力の向上には、何よりも子どもたちの学ぶ意欲を高めることが大切であると考えております。学校では、ICT機器の活用も図りながら、子どもたちが学ぶ喜びを実感できる「わかる・楽しい」授業づくりに努めてまいります。
- ご家庭におかれましても、日々のお子さまの学校でのようすを語り合っていただき、明日への意欲につながる温かい言葉かけを引き続きよろしくお願ひいたします。